

PFI 事業スタッフによるコロナ対応の振り返り報告書
～長崎みなとメディカルセンターにおけるアンケート調査から～

長崎ホスピタルパートナーズ株式会社

帝京大学法学部 朴井晃

2025 年 6 月 1 日
2025 年 7 月 1 日（2 版）

1. アンケートの位置づけと狙い

① アンケート調査を行うにあたっての背景

本アンケートは、筆者（帝京大学法学部 准教授 朴井晃）と長崎ホスピタルパートナーズ株式会社（PFI 事業における契約の主体であり、PFI 事業者全体のマネジメントを担う中核をなす特別目的会社（SPC）であり、以下「SPC」という。）が共同で実施したものである。その目的は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）対応を振り返り、その経験を次の新興感染症への備えに活かすことにある。特に、PFI 事業に従事したスタッフの視点や具体的な取り組みを記録し、自治体病院の運営を支えた多様な努力を広く共有することで、次なる課題解決に貢献する必要性が高いという共通認識から実現したアンケートである。

② アンケートで明らかにするもの

アンケートでは、PFI 事業スタッフがコロナ対応において直面した課題や取り組みを記録し、得られた経験を次なる感染対策の検討材料とすることをめざす。

業務中に行った工夫や行政機関からの要請への対応、運営方針決定過程での課題などの具体的事例を収集することを重視しつつも、回答者が自由に感想や業務内容を振り返ることを大切にしている。

また、PFI 事業スタッフが恐怖や不安と隣り合わせの中で、医療職とともにコロナ対応にあたった姿を浮き彫りにすることもめざしている。この結果は、スタッフの貢献を広く周知し、PFI 事業者の評価向上にも寄与するものとなる可能性を秘める。

なお、アンケートの回答に記載された内容は、事実関係を確認したものではなく、あくまで個人の見解であり、所属組織の公式見解ではないことを申し添える。また、個人を攻撃するものや差別的な表現は一切なく、SPC の承認のもと、そのまま公表している。各回答内容に関する個別の問い合わせにはお応えできかねることを、あらかじめご理解いただきたい。

2. アンケートの結果

① アンケートの実施概要

アンケートは、長崎みなとメディカルセンターにおける PFI 事業に従事するスタッフを対象に実施したものであり、その概要を表 1 に整理した。

表 1 長崎みなとメディカルセンターの PFI 事業者への本調査内容

項目	説明
依頼期間	2024 年 12 月 5 日から 2025 年 1 月 31 日までの約 2 か月間
依頼方法	SPC より、協力企業の責任者を対象とした会議の場で協力依頼を行うとともに、詳細を記載した書面を併せて配布し依頼を進めた
実施方法	本調査では、対象者に対し、コロナ対応の経験や感想を記録する簡易なメモを求めた 提出方法：「アンケートフォームからの回答（QR コードの読み込み）」または「回答用紙での記載（各職場に設置した回収ボックスに提出）」のいずれかとした ※以下のような具体例を提示し、多くても 5 行以内の短い文章または箇条書き形式で記載するよう依頼 ・コロナ対応で「がんばったこと」「大変だったこと」「嫌だったこと」などの感想 ・コロナ対応で「新たに行ったこと」「変更があったこと」「やらなかったこと」など、業務内容に関すること ・患者や他のスタッフからの「感謝」「心ない言動」などの記録 ・その他、コロナ対応に関連する事象全般

筆者整理

② アンケートの対象及び回答

アンケートは、表 2 のとおり長崎みなとメディカルセンターの PFI 事業者 7 社を対象として実施し、依頼は SPC を通じて行っている。なお、アンケートへの回答はあくまで任意であるため、個別企業ごとの回答状況を示すことは控え、各業務種別ごとに取りまとめた回答数などを表 3 に示すこととした。

回答の取り扱いは、複数の項目が記載されている場合、それぞれを別項目として入力し、1 つの内容を 1 項目で記録する形式を採用している。

アンケートは、長崎みなとメディカルセンターの PFI 事業に従事するスタッフを対象に、2024 年 12 月 5 日から 2025 年 1 月 31 日にかけて行われ、表 3 のとおり、7 社の PFI 事業者のうち、77 人のスタッフから計 106 件の記述が寄せられた。

アンケートで収集したデータを多様な視点から分析できるよう全回答を表 4 に掲載する。この一覧はアンケート結果を総合的に活用するための重要な資料となるため、有効に活用されたい。

本アンケートで得られた回答が、次の新興感染症に向けた知見の蓄積に寄与し、より迅速かつ実効性のある対応を実現するための一助となることを期待する。

表 2 長崎みなとメディカルセンターの PFI 事業者

企業名	長崎みなとメディカルセンターPFI 事業の 8 業務 (個別業務)	本調査での業務種別
長崎ホスピタルパートナーズ(株) : SPC	個別業務マネジメント業務	統括マネジメント業務
(株) チョープロ	エネルギーマネジメント業務	統括マネジメント業務
大成有楽不動産 (株)	建築物等保守管理業務	施設維持管理業務
大成有楽不動産 (株)	建築設備保守管理業務	施設維持管理業務
(株) クリーン・マット	清掃業務	施設維持管理業務
(株) 城保安警備	保安警備業務	施設維持管理業務
(株) 城保安警備	駐車場等保守管理業務	施設維持管理業務
(株) 光洋	利便施設運営業務	利便施設運営業務 (コンビニ)
(株) パースジャパン	利便施設運営業務	利便施設運営業務 (床頭台等メンテ)

SPC より提供

表 3 本調査回答状況

業務種別 (アンケート対象事業者数)	2024 年 12 月 5 日時点調査対象スタッフ人数 単位：人	回答人数 単位：人	回答項目数 単位：件
統括マネジメント業務 (2 社)	2	7	7
施設維持管理業務業務 (3 社)	62	58	82
利便施設運営業務 (2 社)	23	12	17
計 (7 社)	87	77	106

※アンケートフォームを通じた回答であるため、「回答人数 (単位：人)」については、1 人が複数回答した場合でも、それぞれ別の回答者としてカウントされている。なお、「回答項目数 (単位：件)」については、1 つの回答に複数の内容が含まれている場合、それぞれを別の回答項目としてカウントしている。

基本データは SPC より提供を受け本調査結果などから筆者整理

表4 回答内容一覧

	記載内容	記載内容 の性質 12 項目)	記載内容 の方向(3 項目)	記載内容 の時系列 (4項目)	記載内容 の区分(9 項目)
1	院内感染も起こらぬ様、自らを守るためにもルール変更や対応が変わる度に従い動くようにしてありました。 ただ、病棟によってゾーン分けのルールか違っていたり、尋ねる人によって一貫性がない為、言われたようにしても注意を受けたり毎日戸惑っていた印象です。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
2	陽性患者が出た部屋に関しても連絡が回るのが遅く、直接患者に接する自分たちだけが用心すれば良い様な感じでした。	10 業務内容	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
3	非常事態だからこそ、病院に勤務する人全員がお互いを思い合う気持ちで行動出来たら良いのにと残念に思いました。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
4	手洗いうがい手指消毒マスクの徹底	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
5	手洗い、うがい、人混みをさける	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
6	コロナ対応で、各階の対応が違う対応が違うので確認すると、その階の方も把握してなかったりしたので大変でした。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
7	マスクの徹底と外出先からの帰宅時服や靴の除菌をコロナ時から現在迄しております。一度もコロナにはかかっていません。	1 感想	2 どちらでもない	3 経験後	8 個人的なこと
8	手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用の徹底	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策
9	手洗い、うがい手指消毒マスク着用	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策
10	手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用の徹底。外出先でもマスク着用など心掛けている。	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	7 地域感染対策
11	手洗い、うがい、マスク着用、人混みをさける	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	7 地域感染対策
12	手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、無駄な外出、人が多いところは避ける。	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	7 地域感染対策
13	時短勤務が継続しているので収入が減った。それが一番の影響。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
14	こちらには入職していなかったが当初マスクの入手が難しい中 前職で配布して頂き、通勤や食料品等買いに行けたのでありがたかった。	1 感想	1 よかった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
15	厚労省や医療従事者の方が発信されている情報のアップデートされたものをいつも参考にして、家族	8 成功事例	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策

	や身近な方が持病をもっているのも、今も引き続きリスクを下げること、必要場所でのマスクや石けんでの手洗い、アルコールでの手指消毒をしています。				
16	従業員以外で院内でマスクをされない方も時折いらっしゃるので、その時は気をつけるようにしています。	3 意見	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策
17	昨年まではコロナワクチンをフルで打って準備できていましたが、今年は打つ機会がまだないので、体調をできるだけ整えるようにしています。	1 感想	2 どちらでもない	3 経験後	8 個人的なこと
18	コロナ禍で就業時間が減少していた際に給付金の手続きをしていただいていたことに助かりました。ありがとうございました。	4 評価	1 よかった	2 コロナ対応	3 行政の対応
19	人ごみをできるだけ避けることも続けて、できる範囲で対策を続けていきたいと思っています。	12 その他	2 どちらでもない	3 経験後	8 個人的なこと
20	感染症のことたくさんの方々を治療されて受け入れてくださっていること、とてもありがたく思っています。	4 評価	1 よかった	2 コロナ対応	5 院内対応
21	外食、及び他県への移動を控えた。	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
22	手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用の徹底(現在も) 病院内勤務の為、初期の頃はコロナに感染したら迷惑を掛けてしまうと言う意識が強かった。	3 意見	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策
23	手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	6 院内感染対策
24	長崎はクルーズ船の陽性者を受け入れ第一波がスタートしました。未知のウィルスだったこともあり清掃に従事する従業員も動揺していましたので、感染看護師から飛沫感染である主旨の説明会をしてもらい落ち着きを取り戻そうと取り組みました。	7 不安	1 よかった	1 事前準備	6 院内感染対策
25	従業員に陽性者の居室やフロアを清掃させる事はできず、どこも陽性者の居室を清掃する業者がいない為、自ら近くのアパートを借り自分を家族と隔離し、正義感で陽性者居室の清掃をスタートしました。隔離する為のアパート代も隔離される為の自らの業務停止も何も補償される事なく第三波まで実施し、その間重症化した患者さんが残念ながら息を引き取られた居室にも何度も入り、手をあわせてベッド周辺を丁寧にお掃除しました。 途中からは、陽性者の数が多くなり、どこで聞きつけたのか？県から「宿泊療養施設のホテルを予定している。清掃を頼まないか？」と要請があり、他に誰も清掃を引き受けるところがない事から病院陽性者居室清掃を週 3 回にしていたことから宿泊療養施設に	10 業務内容	3 悪かった	2 コロナ対応	1 医療体制

	<p>は週 3 回が限界であることを了承してもらい引き受けることとした。宿泊療養施設では退去後 72 時間経過のあとで清掃に入る約束でしたが、次から次へと療養者が増え続け、現場では居室が足りない状況に追い込まれました。現場の看護師は口に出しませんが、退去後 72 時間厳守を続けると陽性者が入居出来ないピンチが続いたため、当方より申し出て退去後すぐに清掃にはいる決断をし対処しました。宿泊療養施設は空調をストップしている為、居室内は暑く、防護服と N95 マスクを着けた状態でベッドメイクという作業は過酷でした。通常ビジネスホテルの客室清掃は 11 部屋を 1 人で清掃するケースが多いのですが、清掃・消毒を済ませないと次から次に来る陽性者を受け入れる事が出来ないため、18 室を延々と清掃する日々もあり、かなり困難な状況でもありました。暫くすると大学病院からも「陽性患者の居室清掃出来ませんか？」と連絡を頂きましたが、さすがにこちらが倒れると思いますし、受けた業務を放棄できませんのでお断りいたしました。当事者である病院職員さんが正義感でおやりにならないのかな？とは思いました。今振り返るとよくあんな状況で感染する事なくやり遂げたと思います。世間から称賛はされなくても家族はわかってきていますし、これからも正義感をもって仕事に取り組んで参ります。</p>				
26	病棟毎に対応が幾分か違うことが有り、対応が紛らわしかった様な気がしました。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
27	たくさんのバイオ BOX の回収が大変でした。	10 業務内容	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
28	自分がコロナに感染しないか心配だった。	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
29	業務が変則的になった。	3 意見	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
30	感染対策は徹底的にやった。	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
31	熱があつて病院に来院する事が有り…職業を聞かれたときに「病院に勤めてます」とは、答えずらかったです。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
32	濃厚接触者など勤務先の制限が厳しいと感じ家族と距離を置いての生活が続いた。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
33	コロナと関係ないがマスク着用が当たり前になって風邪を引かなくなった。	12 その他	1 よかった	3 経験後	8 個人的なこと
34	コロナ流行期は入社前でしたが、感染対策を十分に構築するのは大変だと思っています。	3 意見	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
35	病院からの情報共有が不十分で清掃のあとからコロナだったということがあり、以前からそういうこと	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針

	は有りましたがコロナ禍になり多くなりました。				
36	県外の協力業者が入館できなくなり重要でない定期点検は延期するなどの判断が必要だった。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
37	コロナの危険性を教えてくれていた感染看護師がコロナに罹り何を信じてよいのかわからなくなった	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
38	陽性患者の部屋に管球交換に行くのが怖かった。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
39	防護服の脱着を教えてくれる看護師と何も言ってくれない看護師がいて徹底されていないことがあった。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
40	サージカルマスクが手に入らず大学病院の清掃を行っていた別の事務所経由でかなり高額な布マスクを購入して急場を凌いだ。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
41	病室から退出後にその病室の患者が陽性だったということがあり怖かった	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
42	慰労金の給付がありがたかった	4 評価	1 よかった	2 コロナ対応	3 行政の対応
43	屋外に設置されたテントの洗浄など余分な仕事が増えた	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
44	濃厚接触者の出勤NGで勤務シフトが成り立たないことがあった。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
45	コロナ疑いの患者の情報を感染ボードに記載していないことがあり日常清掃者が怖がっていた	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
46	会社からは何の支援もなかったが終盤になってやっと自宅待機者のリモートワークが可能となった	10 業務内容	2 どちらでもない	2 コロナ対応	9 その他
47	病院内の管理事務所であるにもかかわらずマスクを卸してもらえなかった	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
48	閉鎖中の病棟清掃をしない代替作業として院内消毒作業の強化を行った	10 業務内容	2 どちらでもない	2 コロナ対応	5 院内対応
49	一般病棟でコロナ感染者がでた場合、72 時間経過後入室などのルールが決まるまで混乱した時期があった	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
50	「陽性者が出たので 16 日清掃します」の張り紙を見た日常清掃員が自分たちに依頼されたと思い込み責任者に報告してきた。業務責任者が管理係に確認したところ張り紙は看護師が清掃するという意味だったらしく 5 北師長から日常清掃員には依頼していないとのクレームとなった。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
51	病院職員と同レベルの行動制限で外食を避けるなど私生活でも制限をしていた→私生活でも県外への移動は禁じられた	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
52	陽性患者の部屋に入室する必要がある不具合対応などはスタッフを危険にさらさないので所長である自分が専属で対応した。	10 業務内容	2 どちらでもない	2 コロナ対応	5 院内対応
53	一般病室で陽性患者が出たときにそのエリアがゾー	3 意見	3 悪かった	2 コロナ	6 院内感

	ニングされ防護具着用になっていたが頻繁に変わる シタイムラグがあったりして混乱した。		た	対応	染対策
54	担当していた病院側部署の方は非常に多忙で見え られなかった。	1 感想	2 どちら でもない	2 コロナ 対応	1 医療体 制
55	コロナの予防接種は病院直雇のスタッフのみで事業 者側は各自治体で接種したのが不満だった。	3 意見	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	4 院内方 針
56	初期のころ妻から夫が病院勤務であることは自分の 職場内では言えないといわれていた。	7 不安	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	8 個人的 なこと
57	従事者にはコロナが怖くて4日で辞めた新人もいた。	5 課題	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	8 個人的 なこと
58	コロナ病床用の清掃道具を貸出したため資機材が不 足した。	10 業務内 容	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	5 院内対 応
59	コロナ病棟からの退室時に持ち込んだ脚立や工具を 消毒するのが面倒だった	3 意見	2 どちら でもない	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
60	交換した管球はほかの廃管球と違い数日間保管する など特別な廃棄方法があったので混乱した。	10 業務内 容	2 どちら でもない	2 コロナ 対応	4 院内方 針
61	陽性患者を ELV で搬送した後のかご内消毒は誰が行 うのか→感染病棟の看護師となったが多忙のためす ぐには対応されず ELV が使えない時間があつた。	5 課題	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
62	防護具の付け方を感染看護師にレクチャしてもらっ た。着けるときは良いが脱ぐときが危険なので現場 看護師に指導してもらっていたがしばらくしたら 立ち会ってもらえなくなった。	3 意見	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
63	8 階コロナ病棟をはじめ病院から依頼があつた箇所 の簡易間仕切りを常駐員で設置し迅速に対応した。 設置後の不具合や移動、撤去も迅速に対応し積極的 に協力した。	10 業務内 容	1 よかつ た	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
64	感染リスクとなるジェットタオルの撤去が決まり早 急に対応した。	10 業務内 容	1 よかつ た	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
65	窓が開かない構造のため換気が悪いとの意見が多く 空調機の風量アップやFCU への HEPA フィルター挿入 を実施した。	10 業務内 容	1 よかつ た	2 コロナ 対応	6 院内感 染対策
66	駐車場棟でドライブスルー検査が実施されることに なり照明や交通誘導などの応援を行った	10 業務内 容	1 よかつ た	2 コロナ 対応	4 院内方 針
67	陽性患者が退院した後は看護師が消毒を行うことに なっていたが常駐の日常清掃員がいつ入れるように なるのか曖昧で不安だった。	7 不安	3 悪かつ た	2 コロナ 対応	5 院内対 応
68	陽性患者が在室している病室の日常清掃は当初看護 師が行っていたが看護師の負担軽減のため事業者側 での実施を打診された。協議により不可抗力である ことが認められ別契約での清掃を行うことになった が常駐員では実施できなかったため清掃業者を探す のに苦労した。清掃担当事業者の幹部社員が清掃を 行う期間もあり会社を挙げてのバックアップに大変 感謝している。その期間中は当該幹部は自宅に帰れ	8 成功事 例	1 よかつ た	2 コロナ 対応	5 院内対 応

	ずホテル住まいでその費用は病院からは支払われなかった。				
69	外来診察室でドクターと看護師が感染したことがあり換気についての調査を行い長崎大学の教授に分析してもらった。	9 改善提案	1 よかった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
70	最も酷いときは時差出勤なども取り入れたが出勤時間が揃わないので申し送り等ができず連絡事項の周知に手間がかかった。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
71	従事者が罹患した時や濃厚接触者となった時の報告書面や出勤可能日が変わることがあり混乱した。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
72	大変でした	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
73	最初の頃はコロナがとても感染力が強い重症な、えたいの知れないものだったので、メディカルに勤めてるとはとも言えませんでした。	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
74	退院清掃も抵抗がありました。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
75	私はこの仕事に就いてまだ日が浅くコロナ渦の状況を知りません。	12 その他	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
76	完全に終息したわけではないこの数年は、外出先でのマスク着用、手洗いの頻度を増やすなど対策継続する意識が身についたと思っています。	1 感想	1 よかった	3 経験後	8 個人的なこと
77	感染する事が自己管理不足で恥ずかしい事だと思っていた頃もありましたが、今は考えも柔軟になりました。	1 感想	1 よかった	3 経験後	8 個人的なこと
78	病院で清掃を行っていると話せなかった。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
79	実家に行けなかった。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
80	病院の決まりで外食することができなかった。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
81	看護師が感謝されることはあっても、清掃や設備などに対しては報道や実体験として感じなかった。	3 意見	3 悪かった	3 経験後	8 個人的なこと
82	清掃後にコロナの病室だったと報告が何度もあった。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
83	頻繁にレッドゾーンやグレーゾーンが変わり、スタッフの対応が大変だったと思う。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
84	防護服着用について、特に厳しく指摘を受けなかったことは良かった。	3 意見	1 よかった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
85	師長もそれぞれ考え方に差があり、統一性がなかったかもしれない。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
86	コロナ病室に入る人がおらず調整が難しかった。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
87	家でもコロナの病室に入っていることは言わなかった。	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと

88	マスクの確保に苦労した。	5 課題	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
89	陽性で自宅待機の期間が長かった。	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
90	看護師がレッドゾーンの清掃対応時は助かった。	1 感想	1 よかった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
91	消毒するモップやクロスが増え、浸け置きするため直ぐに洗えず洗濯が大変だった。	10 業務内容	3 悪かった	2 コロナ対応	5 院内対応
92	ウイルスは目に見えるものじゃないので怖かったです。家族にうつらないか心配だったです。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
93	コロナ病棟においてはエイドさんの配置さえ病院側から控えていた期間の後半数か月間専従でした。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
94	必要とはいえ、例の重装備での仕事は大変な思いをしました。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	6 院内感染対策
95	感染への不安は常にありましたが、誰かがやらなければいけないことだと割り切って。	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
96	日常生活でもマスクは離さず、友人との接触も最低限に控えていました。	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
97	コロナ受け入れ病院での仕事と知っている人にも、コロナ病棟に入っていることは極秘でした。	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
98	幸いなことに一度も罹患することなく現在に至っていますが、予防意識を常に心掛けることは重要と感じました。	1 感想	1 よかった	3 経験後	8 個人的なこと
99	コロナでも続けて仕事に頑張った。	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
100	自分にコロナがうつりそうで心配だった。	7 不安	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
101	コロナでも頑張って仕事してますねの言葉があった。	4 評価	1 よかった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
102	「大丈夫ね病院で仕事しても」の一言	7 不安	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
103	コロナの注射が毎回大変だった。	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと
104	管理体制が悪かった。	3 意見	3 悪かった	2 コロナ対応	4 院内方針
105	コロナに感染しないように頑張ったけど罹ってとても苦しかった。	1 感想	3 悪かった	2 コロナ対応	8 個人的なこと
106	大変だったこと。コロナ対応での仕事のしかたとか変更など悩むことが多かった。	1 感想	2 どちらでもない	2 コロナ対応	8 個人的なこと

※第2版では、表4において「記載内容の性質」「記載内容の方向」「記載内容の時系列」「記載内容の区分」に分類した結果を掲載している。

参考：依頼内容

令和 6 年 12 月 5 日

長崎 PFI 事業業務従事者の皆様

長崎ホスピタルパートナーズ株式会社

マネジメント責任者 尾上 智晴

帝京大学法学部政治学科

准教授 朴井 晃

PFI 事業に従事したコロナ対応の振り返りについてのお願い

平素より、長崎みなとメディカルセンターでの業務に真摯に取り組んでいただき、誠にありがとうございます。本日は、当院の PFI 事業に従事されている皆様にご覧がたいです。

ご存じの通り、コロナ対応における経験を次の新興感染症対応に活かすべく、さまざまな分野で検証が進められています。最近では、コロナ禍での反省を踏まえ、政府が「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を改訂するなど、振り返りが行われています。

このような動きの中で、自治体病院のコロナ対応が評価され、存在意義が再確認されました。医療従事者への賞賛の声が多く発信されている一方で、医療機関でのコロナ対応を支えた PFI 事業に従事した皆様の努力も、もっと広く知られ、感謝されるべきだと考えています。また、どのような思いや厳しい状況でコロナ対応業務に取り組まれていたかを知っていただくことも大切です。

そこで、PFI 事業に従事されている皆様の声を集めるため、以下のお願いを申し上げます。記憶が薄れてしまう前に、今一度コロナ対応について振り返り、その思いをお聞かせください。

記

1. 記載内容（提出していただきたい内容）

コロナ対応での感想や経験を、どのような内容でも構いませんのでメモとして提出してください。

（多くても 5 行以内の短い文章・箇条書きで記載）

※1 人何枚提出しても構いませんが、1 枚には 1 つの内容にしてください。

例：コロナ対応で「がんばったこと」「大変だったこと」「嫌だったこと」などの感想

コロナ対応で「新たに行ったこと」「変更があったこと」「やらなかったこと」などの業務内容に関すること

患者や他のスタッフからの「感謝」「心ない言動」など

その他、コロナ対応に関連することであれば何でも構いません

2. 提出方法 【下記①、②のどちらかをお願いします。】

① アンケートフォームからのご回答（次ページ QR コードを読み込んでください。）

② 回答用紙でのご回答。（各職場に設置した回収ボックスに提出してください。）

3. 回収締め切り

令和 7 年 1 月 31 日（金）

4. 目的

コロナ対応の経験を、完全に過去のものとする前に収集し、次の感染症対応に引き継いでいくことを目的としています。

5. 活用方法

現時点では具体的な活用方法は決まっていますが、回答内容を確認したうえで、学会発表や論文、記録としての保管など、さ

まざまな可能性を検討します。

6. 提出にあたってのお願い

提出は任意ですので、提出いただかなくても、また、病院や組織を批判する内容であっても、不利益に取り扱われることは一切ありません。自由にご意見をお書きください。

7. お問い合わせ先

長崎ホスピタルパートナーズ

アンケートフォームからの回答の場合

下記QRコードを個人スマホのカメラで読み取りご回答ください。

(アプリのインストール等は不要です。)

謝辞

本調査は JSPS 科研費 JP24K13300 の助成を受けたものである。

また、アンケートの実施にあたり、多大な協力をいただいた長崎みなとメディカルセンターの事務局職員と長崎みなとメディカルセンターの PFI 事業に従事する企業の皆さんに感謝申し上げます。本報告書に記載された内容の責任は、長崎みなとメディカルセンターおよび SPC には一切なく、すべて筆者に帰属する。そのため、現場における対応をお約束することはできないが、本報告書に関してご意見等がある場合には、筆者までメール (bokui.akira.mu@teikyo-u.ac.jp) でお寄せいただきたい。

さらに、アンケートの取りまとめ等に協力してくれた、帝京大学法学部政治学科 齋藤舞凜さんに深く感謝申し上げます。